

NPO 法人ゴールデンアカデミー・プロフェッショナル人材のご紹介

ゴールデンアカデミーの各活動分野で、現在活躍中の主なプロフェッショナル人材(一部)をご紹介します。

プロジェクト メンバー (五十音順)	プロフェッショナルエリア
教育・研修プロジェクト プロデューサー 稲山 耕司	日本IBMにおいて教育・研修を担当。IBMの関連会社アワーズの常務取締役・人材開発事業部長、守谷商会顧問等を歴任。この間、東京経営者協会の経営労務コンサルタント、千葉商科大学及び横浜商科大学等の非常勤講師を兼務。得意分野は経営幹部・管理者のリーダーシップ開発、創造性開発、戦略型ミドルの育成、組織開発等である。ゴールデンアカデミーの教育・研修プロジェクトプロデューサーを務める。
ゴルフボランティアプロジェクト チーフサポーター (神奈川・静岡担当) 岩崎 齊	大和生命にて北海道、東北6県の各店舗を統括する東部統括部長として組織統率に手腕を発揮。退職後(株)みちのくゴルフ統括部長として新聞部門、総務部門を担当。傍ら小学・中学・高校生を対象とした「みちのくジュニア選手権」の開催準備責任者並びに大会委員長として、ゴルフを通して青少年の育成に貢献。また、ゴルフ場向けボランティア活動システムを考案し推進。ゴールデンアカデミーではゴルフボランティアプロジェクトのチーフサポーターを担い、ボランティア活動の中心メンバーとして活躍中。
築地街づくりプロジェクト チーフコンサルタント 大槻 邁	日立製作所、日本IBMを経て半導体会社社長、恵泉女学園常務理事など歴任。英語コミュニケーションを必要とする企業経営・管理、(含:米国、東南アジア、中国)、特にIT関連企業、製造・設計・経営管理・ロジスティクス・総務等。新製品、新商品、新規事業開発支援、地域の活性化事業支援、ベンチャー企業育成支援で活躍。ゴールデンアカデミーの築地街づくりプロジェクトチーフコンサルタントを務める。
決済システムプロジェクト プロデューサー 尾賀 健一	OMRONで1990年代から国際クレジットの接触型ICカード化に参加しVisa向けに決済端末やチャージ機の製品コンセプトの立案と製作、製品の認定取得を含む販売・マーケティングにプロジェクトリーダーとして携わってきた。その後は金融機関、カード発行を経験し2007年に決済アドバイザーとして独立。接触ICカードに加えてスマホを含むモバイル決済を動かすNFC技術にいち早く注目し、2011年には国内で言う「おサイフケータイ」の世界動向を海外の業界紙編集長からの情報も含め、ある交通機関へ報告書で提示したり、スマホメーカーの海外EMV認定取得の支援をしている。ゴールデンアカデミーでは決済業務やICカードを扱うビジネスのコンサルを担当。
支援プロジェクト チーフコンサルタント 道前 正治	オムロンにて、官庁・法人向けシステム機器、カードシステム事業等の営業及び事業責任者を歴任の後、(財)京都産業21に於いて常務理事、(財)東京都中小企業振興公社に於いて再生支援事業オーガナイザー、(独)中小企業基盤整備機構に於いて応援センター事業全国支援統括マネージャーとして中小企業公的支援業務に通算9ヶ年従事。得意分野は再生支援、販路開拓支援、連携強化支援など。ゴールデンアカデミーの企業支援プロジェクトを担当。
教育・研修プロジェクト チーフコンサルタント 古畑 仁一	日本IBMでの人事畑を経験のあと、人事・研修業務のアウトソーシングサービスを提供する(株)アワーズ社長、日本IBM人事サービス(株)副社長を歴任。2000年から2012年まで慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスのキャリア・リソース・ラボ上席所員(訪問)として学生のインターンシップ(キャリア教育)やビジネスパーソンの自律型キャリア開発研修のファシリテーションなどを行う。ゴールデンアカデミーでは、企業における人的資源の有効活用を支援する教育・研修プロジェクトを担当。得意分野は自律型キャリア開発研修や360°評価研修。

<p>ゴルフボランティアプロジェクト チーフサポーター (東京・千葉・山梨担当)</p> <p>森本 正信</p>	<p>1972年立石電機(現オムロン)に入社、電卓事業の海外営業を経て、流通システムの中南米事業をブラジルでの駐在を含め16年間携わる、その後当事業の海外営業統括責任者として勤務後、健康機器事業がオムロンから独立したのを契機にオムロンヘルスケア(株)のアジアパシフィック地区での医療・健康機器の現法オムロンヘルスケア・シンガポールの総責任者として6年間シンガポールに駐在。2010年4月、定年退社後グローバル人材の育成などコンサルティング会社の契約講師として活動。ゴールデンアカデミーではゴルフボランティアプロジェクトを支援。1948年京都府生まれ、1972年慶應義塾大学商学部卒、64歳</p>
<p>情報セキュリティプロジェクト プロデューサー</p> <p>山下 幸三</p>	<p>日本 IBM にて、大型情報システムの構築・プロジェクトマネージメントを数多く経験。その後、大手海運会社(NYK)の大規模システム開発責任者、大手セキュリティ会社(セコムグループ)のコンサルティング・パートナーを経て、現在 ISMS・ISO9001・プライバシーマーク認証取得及び IT 統制環境整備のコンサルタントとして活躍。ゴールデンアカデミーの情報セキュリティプロジェクトプロデューサーを務める。</p>
<p>ゴルフボランティアプロジェクト プロデューサー</p> <p>山田 純一郎</p>	<p>1969年立石電機(現オムロン)入社。産業システム、金融システム、流通システム、農業生産支援などの部署を歴任し、新商品企画、新事業企画、営業統括、事業統括を経験。2002年9月退社後、現在は、ゴルフボランティア支援を主務とする傍ら、地域コミュニティ活動のリーダーとして年間180回参画。ゴールデンアカデミーの新事業企画、営業支援、ゴルフボランティアプロジェクトプロデューサーを務める。静岡大学電子工学部卒。</p>
<p>支援プロジェクト プロデューサー</p> <p>余田 幸雄</p>	<p>通産省で技術開発プロジェクト・地域活性化・特許等の行政に従事。また、1997年から2000年まで、JETRO サンフランシスコ所長としてシリコンヴァレーを経験。2000年以降、民間企業にて先端技術関連のM&A、子会社設立、ベンチャー投資等を担当。2007年(株)タスク・ヨダを設立し、ベンチャー支援・研究開発指向中小企業の支援を行う。東京近県のベンチャー支援機関等にネットワークを有し、個別の支援相談等を行っている。VC等にもネットワークを有する。技術の分かる事務屋として製品開発から経営の在り方に関する総合的な助言を行う。ゴールデンアカデミーの支援プロジェクトを担当。</p>
<p>(事務局) 支援プロジェクト チーフコンサルタント</p> <p>石井 攻</p>	<p>国内生保の支社長、秘書室長を歴任の後、各種のボランティア活動に従事。国内では主に自然エネルギーの普及に注力。海外においては途上国(主にパプアニューギニア)の生活環境の改善や農林水産業振興のための支援活動を行っている。現在、上記のほか中小企業経営支援・企業マネジメントシステムのコンサルティング等を含め幅広い支援活動を実施。ゴールデンアカデミーの企業支援プロジェクトを担当。</p>